

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 10 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---------------------------------|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | 外出頻度が減少してきており、支援する方に偏りも生じてきている。 | お一人お一人の介護計画に基づき、2回/W以上の外出支援を行える。 | 季節に応じた外出時間の変更及び確保、職員への意識付けを継続して行う。また、利用者の方によつての偏りが生じない様に利用者の方毎の外出状況(1ヶ月)が分かる用紙を作成し活用していく。 | 6ヶ月 |
| 2 | 13 | 職員を育てる仕組みづくりが不足している。 | 職員一人一人が施設運営に対する意識を共有し、目標を持って日々の業務に取り組む事が出来る。 | 一ヶ月毎に法人理念に基づいた全体目標と個人の課題について取り組む個人目標を決め、事務室に掲示し、意識して取り組みを行っていく。併せて一ヶ月毎に振り返りを実施していく。 | 6ヶ月 |
| 3 | 14 | 他法人で同業種との情報共有や連携がうまく行えていない。 | 同業種との交流の機会を作り連携をとっていく。 | 見学にいく機会を設け、施設の特色や課題等について情報を共有していく。 | 8ヶ月 |
| 4 | 52 | 施錠箇所が多く閉鎖的な印象を受ける。 | 可能な限り開放できる箇所を開放していく。 | 居室、リビング、中庭のベランダ等の開放制限を外し、利用者の方がいつでも外部の空気に触れる機会を作る。利用者の方の心身状況によって開放する方とそうでない方については、見極めながら実施していく。 | 6ヶ月 |
| 5 | 40 | より食事に対する楽しみを持って頂く。 | 楽しみの持てる食事環境を作る。 | 当日の献立表を作成し利用者の方の見える箇所に配置する。献立は、利用者の方に手書きで行って頂き、模様等は色塗りをし頂く等して、作成自体にも役割や楽しみを持って頂く。 | 6ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。